



한청통신

韓 青 通 信

2011 年 9 月号

今号のラインナップ：全国で夏期講習会、8・15 集会を開催 / 夏期講習会参加者の感想 / 活動報告 / 選挙広報アンケート宣伝活動を展開して / 『歴史の意志を実践する』 / 2012 年に向けて / 情勢 NEWS / 活動予定 / 編集後記

全国で夏期講習会、8・15 集会を開催！



この夏、韓青は「第45回韓青全国統一夏期講習会ーサマーキャンプ2011」を、東日本（8月6日ー7日、千葉県富津海岸）、中日本（8月6日ー7日、岐阜県フォレストパーク373）、西日本（8月5日ー7日、兵庫県三田市野外活動センター）でそれぞれ開催しました。

「とともに行こう 6・15！祖国とともに！民族とともに！」という共通テーマをもって開かれた講習会には、全国各地で多くの同胞青年が参加し、民族文化に触れながら、同胞同士で語り合う充実した時間を過ごしました。もちろん交流するだけでなく、『ともに民族的に生きよう！』というテーマで講演や討論が行われ、『2012 年在外選挙、意義と青年の役割』をテーマに来年に迫った在外選挙に向けた学習も行いました。

「私たち一人ひとりが民族的に生きようとするときに、日本社会の差別が立ちはだかる。在日同胞をとりまく差別構造を変えていくためにも、統一祖国と日本の互惠平等な関係を作っていくことが必要だ」という認識を共有し、「そのための第一歩が 6・15 宣言を支持・履行する政府を生み出すことであり、2012 年の在外選挙は大きなチャンスである。祖国と断絶させられてきた在日同胞が祖国と正しくつながり、民族の主体

として生きていく契機としよう」という提起を受けて、参加した多くの青年は在外選挙に対して大きな期待感を持つとともに、民族的に生きる実践として在外選挙への積極的な参加を約束しました。

また、それぞれの地域で多彩な企画が行なわれました。東日本では文化マダンを行い、プンムルやノレ（歌）など、各本部が創意工夫や情熱あふれる文化発表を披露しました。中日本では交流企画を行ない、レクリエーション企画で参加者の交流を深めながら、深夜遅くまで語り合いました。西日本では民族文化体験を通じて民族楽器に触れ、キャンプファイヤーなどの交流企画も行ない、在外選挙をテーマにした劇を発表して講習会の内容を深めました。

そして、感動的な夏期講習会での決意をすぐに実践に移すべく、翌週の 8 月 14 日に関東、東海、関西で、8 月 21 日に広島で「8・15 光復説 66 周年 朝鮮半島の平和と 2012 年政治決戦の勝利を目指す在日韓国入地域集会」に積極的に参加しました。

それぞれの地域集会では、記念講演で朝鮮半島情勢や韓国国内の政治状況を学び、在外選挙広報活動の展開状況の報告が行なわれました。そして選挙広報活動を通じて感じたことを韓青の青年からも決意表明として発表し、さらなる実践活動をそれぞれの地域で展開していくという力強い決意を共有しました。





「第45回韓青全国統一東日本夏期講習会」 に参加して

東京本部 ソン・トンギ

私は、今回初めてサマーキャンプに行きましたが、さまざまなことを学び、楽しむことができました。初参加でしたが、レク委員の一人としても参加しました。当日までの間、打ち合わせをして準備することで、自分の中での夏期講習会が始まっているのを感じました。

初日から非常に詰まった、密度の高いスケジューリングだったこともあり、何かを主催する側としては緊張感があって大変だと感じました。しかし、レク委員の総責任者のヨンランさん、チルリさんに引っ張ってもらいながらも完遂できたのは嬉しかったです。

初日と二日目の両日にあった講習会とそれに伴う班別討論も、普段頻繁に会い、何気ない会話をする人たちと本気で考え方、生き方に対する話を聞け、またそれを自分と照らし合わせてさらに自分と対話していく機会を得られたので、ひとつ良い経験ができました。

また、6月末から始めていた文化発表(プンムル)の練習も、一から始めて一ヶ月かけてみんなで完成させ、またそれを披露できたことは大きな達成感を感じることができました。久しぶりにみんなで一つのものをつくっていったのですが、楽しく、終わった後にお互いに気持ちを共有できるのは良かったと思います。

文化発表自体、各々がこれまでつくってきたものを披露する場であり、そういったエネルギーが集中し、それを体中で浴びることができたのは、個人的には刺激をもらえて良かったです。

2日間、みんなを楽しませて、自分も楽しみ、学び、討論し、遊び、走りまわり、泳ぎ、歌い、踊り、演奏し、写真も撮り放題で頭と体、五感を目一杯使いきって帰路に着くことができたので、満足です。

韓国語教室 「ムグンファ」

見学・体験レッスン随時受付！

担 当：金梨恵(私・イハ)
080-6510-1973

韓国語教材専門インターネット書店

ハングルの森



Internet Bookstore

한글의 숲

<http://www.rakuten.co.jp/eac-hg/>

活動紹介

ハナマダンあまがさき 2011 を開催



8月28日、尼崎市橘公園で「ハナマダンあまがさき2011」が開催されました。主催は韓青兵庫県本部、韓統連兵庫本部をはじめとした、朝鮮半島の平和と統一を願う在日同胞・日本人有志で構成された「ハナマダンあまがさき実行委員会」でした。

今年のハナマダンは3月11日に発生した東日本大震災で大きな被害を受けた在日同胞への支援を大きな目標として掲げ、東北朝鮮初中級学校の尹鐘哲校長を招請し、復興アピールもおこないました。また、統一運動の実践のひとつとして、「北側オリニ栄養パン工場」の宣伝・広報のために、広報大使で韓流スターの権海孝さんをお招きし、尼崎地域における統一運動の拡大に尽力しました。

当日は、晴天に恵まれ、およそ3000人あまりの参加者が会場に集まりました。ステージでは、韓青兵庫の迫力あるサムルノリの演奏から始まり、朝鮮学校の子どもたちの朝鮮舞踊や兵庫朝鮮歌舞団の公演など、ウリ民族文化の華麗な文化公演がステージを盛り上げました。

メイン企画では、まず権海孝さんのトークショーが展開されました。権さんは自身の活動を振り返りながら、「いまは南北が難しい時期となっているが、かならず道は開かれるはず。パン工場などあらゆる運動を通じて、がんばっていきましょう」とアピールされ、最後はギター片手に美声を披露し、会場から喝采を受けました。また、東北朝鮮初中級学校のアピールでは、当日に会場から支援金を集めるとともに、地域の諸団体・個人からマダンの日までに集めていた支援金を伝達しました。

最後は、会場に集った子どもたちが手作りでつくったキャンドルを会場にともし、全員で「ウリエソウォン」を合唱しながら統一への願いを会場全体で共有し、次回マダンでの再会を誓いました。

西神戸支部が定期大会を開催



9月6日、神戸市長田区のピフレホールで、西神戸支部の第9次定期大会が開催されました。

李俊一西神戸支部委員長が「今大会の成功を持って韓青近畿地協の最初の一步を踏み出し、2012年政治決戦の勝利へと貢献していこう」と主催者挨拶を行いました。次に、韓青の各地方本部・支部から届いた祝賀メッセージが朗読されました。

2004年より7年間にわたる活動を総括したのち、活動方針案が提起され①2012年の国政選挙において統一勢力の勝利に貢献する。②祖国の言葉・歴史・文化を学べる場を保障し、祖国のルーツを誇りに思う青年を育成する③国内の青年たちと積極的に交流を持ち、在日同胞と祖国をつなげる④惜しめない民族愛で同胞青年を集め、盟員一人ひとりが主役になれる支部にするという4項目の方針が採択された。

新執行部の選出では、車一展副委員長が満場一致で新委員長に選出されました。車新委員長は就任挨拶において「韓青活動や国内への留学によって、自分は民族的に生きることへの確信を得るとともに、祖国の危機的な状況を感じることができた。新しい西神戸支部では、このような同胞愛をより多くの同胞青年に与えていきたい。ともに活動を担っていく同志をこの神戸の地で育てていきたい。」と抱負を語りました。

韓 国 国 政 選 挙 広 報 運 動

在日同胞と祖国を正しく結びたい！

京都府本部 キム・イル

在日同胞を含む在外同胞に韓国国政選挙の投票権が与えられたという話を耳にして、「ようやく認められた。ちょっと遅かったんじゃないか」という印象も受けましたが、そうはいってもやはり素晴らしいことだし、しっかり活かされなければならないと思いました。

ただ投票権付与の事実を広報する活動が提起されると戸惑いもありました。大統領選挙を含む韓国国政選挙だけに、「韓国政府が在日同胞に十分広報をしているはず」と思い込んでいたし、そう思うと、かなり面倒くさいし、やる意味があるのかという消極的な姿勢でした。盆地で他地域よりも一段と蒸し暑い真夏の京都で戸別訪問を展開することにも抵抗がありました。

そのような不安を抱きながら、京都府本部の仲間たちと京都最大の密集地域・東九条で戸別訪問に取り組みました。玄関先でピンポンを最初に押したときは勇気がいりましたが、最初の一軒をこなすと「いけそうだ！」という思いがわき、次々と展開できて楽しかったです。

同胞宅の玄関先で「来年から在外同胞に選挙権があたえられました」と伝え、「あ、そうなんだ。知らなかった」という反応をする同胞が多かったです。ある同胞は「娘と領事館に旅券申請に行くので、そのときに詳しく聞いてみたい」とも話していましたし、またある同胞は「難しいしよく分からない」という話をされていました。また東九条を中心に歩いていたのですが、探してみるとやっぱり同胞密集地域だけあって、表札を見るだけで同胞だとわかる様な家がたくさんあり、色々な反応が聞けてとても充実した戸別訪問でした。

全体を通して感じたことは、今回の選挙権付与に対してほとんどの同胞が肯定的に受けとめていたことです。しかし、ほとんど浸透していないことも実感しましたし、韓国の政治状況、政党などについては、詳しくご存知でない同胞も多く、それに関する質問も受けました。

今後は、とにかく選挙権付与のことを幅広く広報しなければならぬと思います。そのためにも広報活動をもっと積極的に展開し、選挙権のことを知らない同胞宅にお邪魔させていただき、広く知らせる必要があると感じました。また、同胞と接したときにしっかりと答えられるように、政党のことやマニフェスト、国内と在日同胞のつながり、投票の仕方などを私自身が学び、質問された時に答えられる準備も必要だと感じました。投票に興味を持ってもらえるような広報のやり方も考えたいです。

来年の国政選挙は在日同胞が祖国である韓国と正しくつながるために、小さくても大きな一歩になるはずです。その一歩が少しでも大きくなるよう、今後とも広報活動に精力的に取り組んでいきます。



▲地域で広報を行っています

歴史の意志を実践する！

連続企画「歴史の意志を実践する！」。このコーナーでは、裴東湖記念研究所より発刊されている『歴史の意志を實踐する－唯物弁証法と民族主義で読む「愛国論」の世界』の学習を通じて、韓青盟員が理論学習を積み、日々の実践に還元していくために、そして民族的に生きる力としていくために、学習のフィードバックレポートを掲載していきます。今回は第3回目として、学習会に参加した感想・決意を全国の同志にむけて、三重県本部委員長のチャン・ウチギ氏が述べてくれました。

チャン・ウチギ

この学習会に参加して普段使っている民族という言葉や人間、生きるなど、言葉の意味を深く考えました。人間とは何か？動物と人間の違いは何か？そして民族的に生きるとはどういうことなのかをあらためて認識できたと思います。

まず学習会の後に人間と動物の違いについて考えてみました。動物は本能で生きているが、人間は自分の意志を持ってよりよい社会を作り出す生物という特性を知り、自分は人間らしく生きているのかを考えました。

朝起きて仕事行って帰ってご飯を食べて風呂入って寝る。会社で車の部品を作って社会のためになることはしていて、人間の特性にあてはめると私は人間らしく生きていると思います。しかし、社会の基準は民族とあるように私は日本で生まれ住む在日朝鮮人です。

朝鮮民族である私が人間らしく生きているのか？つまり私は民族的に生きられているのか？を考えた時、様々な問題が浮かんできます。

在日朝鮮人に対する嫌がらせや根強く残っている差別、自分の民族を堂々と出せない社会、社会をよりよくするのが人間の特性ならば朝鮮民族として生きる私はこれらの問題を置き去りにして民族的に生きられるのかを考えます。

国と民族を引き離して考えることは出来ず、国がどう発展するかによって自分の運命が変わっていきます。祖国に目を向けると、南北に分かれ同じ民族同士が銃を向けあい、この問題が国の発展を妨害し日本に住む在日朝鮮人差別という問題につながります。

自分の言葉を学び、歴史を知り、文化に触れ、そして祖国の現状に目を向け正しい発展のため、社会を変革しようとする生き方こそ民族的に生きていると考えます。民族的に生きるとは民族意識を持って主体的に生きるということを深く考える学習会になりました。

これからも本当に民族的に生きているのか、民族的に生きるために自分は何が出来るのかを日々自問自答し多くの在日同胞青年に民族的な生き方を伝えていきます。

事務所移転のお知らせ

韓青大阪本部の新事務所

移転先：〒544-0034 大阪市生野区桃谷 3-13-6

TEL 06-7501-7627 FAX 06-7504-9128

今後ともご支援・ご指導よろしくお願いします。

事務所移転のお知らせ

韓青東京本部 葛飾支部の新事務所

移転先：〒124-0012 東京都葛飾区立石 1-10-2

菊田荘 201

TEL 03-3851-0815（東京本部付け）

今後ともご支援・ご指導よろしくお願いします。

～2012年 政治決戦に向けて～

そうだったんだ！ 国政選挙

Vol.3 プレイバック国政選挙①

《第4代大統領選挙（1960年3月15日）》

～徹底した不正選挙！怒りは4月革命へ！～

今号からは、大統領選挙を中心に過去の国政選挙を紹介していきます。韓国現代史の転換点になった国政選挙の歴史を通して、韓国現代史に触れてみたいと思います。

● 独裁政治を行った李承晩大統領

韓国の初代大統領・李承晩（イ・スンマン）政権時代は、政治・経済ともにどん底の時代でした。経済は破綻状態。頼りにしていたアメリカの援助も徐々に削減されると、民衆の生活はいよいよ困窮していきました。

民衆の不満を押さえ込むかのように李承晩大統領は独裁体制を強化しました。初代大統領のみ終身大統領制を認める「4捨5入」憲法改悪（54年）、有力な野党政治家・曹奉岩（チョ・ボンアン）氏を国家保安法に基づき「北のスパイ」として死刑に処する（58年）など、分断体制を利用して自身に権力を集中させました。

※2011年1月、韓国の大法院（最高裁）が「曹奉岩氏は無罪」と宣告し、曹奉岩氏は名誉回復されました。



▲李承晩大統領

● 究極の不正選挙と4月革命！

1960年3月15日、第4代大統領選挙が行われました。今までの選挙でも選挙干渉と不正を尽くしてきた李承晩大統領ですが、この選挙ではその限りを尽くしたといえます。

なんと事前買収票が4割、その他にも投票箱のまるごとすり替え、不正計票（票の束の表裏だけに“李承晩票”を入れて全てを“李承晩票”とする）などの不正選挙で、李承晩大統領が「92%」の票を集めました。同時に行われた副大統領選挙では、投票率が100%に迫りそうになり、あわててこれを引き下げるなど、思うままに選挙結果を操作しました。



▲不正を予感させる選挙当日の新聞



▲街頭に飛び出す民衆 - 4月革命

これに民衆は激怒します。馬山市で起こった大規模市民デモに警察が発砲。その後、デモは全国に拡大し、4月19日にはソウルのほとんどの大学から学生が集まりデモが行われ、警察の発砲により200人近い犠牲者がでました。しかし、民衆の怒りがおさまることはありませんでした。その後も大規模デモは続き、4月26日、ついに李承晩大統領は辞任に追い込まれたのでした。



情勢NEWS

＜すすむ朝米関係 孤立化する李明博政権＞

8月は朝米関係を中心に、停滞していた情勢が進展する兆しを見せ、また進歩勢力を中心に自主・民主・統一、反MBの熱気が頂点に達しました。

先月に実現した朝米対話に関して具体的な合意内容は今も明らかになっていませんが、両者は「建設的で実務的だった」と一致した評価を下しました。北は平和協定の論議と朝米関係正常化、対北制裁解除などを要求し、米国は濃縮ウラン計画を含めた全ての核開発活動の中断、9・19声明履行の確約、核実験と弾道ミサイル発射の中止などを要求したと推測されています。

今回の朝米対話以降、両国は協力事業、人道支援を次々に発表しています。米国に居住している離散家族再会に関して、8月11日、北の外務省は「人道的見地にたって肯定的に検討している」として、19日には米国の遺体発掘に関する提案を受け入れると、同日に米国が90万ドル規模の緊急水害支援を行うことを決定しました。このように朝米は、さらに深度のある対話をするため、人道主義的事案を媒介に整地作業をしていると予想されます。

韓日政府も外交的孤立を憂慮している模様です。李明博政権は1日、ウリ民族助け合い運動の対北医療支援を許可し、3日には大韓赤十字社が北側に50億ウォンの水害支援を発表するなど、人道支援に関する対北支援を次々に許可・実施し始めました。日本政府も29日、延坪島砲撃戦以前の情勢に戻ったとし、朝鮮学校無償化に関する審査手続きを再開すると表明しました。

また21日に開催された朝口首脳会談では「前提条件のない6者協議再開」を表明し、その帰国の際には中国にも立ち寄り、戴秉国国务委員との会談でも6者協議再開を強調しました。今回の訪口・訪中



▲今年の8・15大会の一コマ

を通して、6者協議再開のための環境作りが大きく進展することが期待されています。

進歩勢力を中心とした統一世論、反MBの喚声も一層高まりました。14日、15日には8・15自主統一大会が、翌週の21日には希望時局大会がそれぞれ1万人を超えるなかソウルで開催されました。また26日には無償給食に関する住民投票が霧散した責任をとって呉世勲市長が辞任。ソウル市長選挙を含めた10月26日の再補欠選挙は注目を集めています。また、民主労働党を軸にした統合進歩新党の動きも具体化し始めました。

一方で16日から「乙支フリーダム・ガーディアン」が行われたことから分かれるとおり、韓米は対北圧迫政策を維持し続けており、李政権は公安弾圧と情報統制も強化しています。7月末にはソウル中央地検が、いわゆる“一進会事件”を“旺載山事件”として発表しており、3日付の朝鮮日報は「民族21、天安艦爆沈を主導した北の偵察総局の指令を受けて」という記事を載せました。18日には東亜日報が「韓統連の選挙介入を遮断しろ」という社説を掲載することで、世論を強力に先導し始めています。

私たちは朝鮮半島に中心に対話情勢がつくられるなか、これを妨害しようとする李政権をはじめとした反統一・守旧保守勢力の悪質な蛮行を断固糾弾します。来年の政治決戦で必ずや勝利するために、選挙広報活動を中心としたあらゆる活動に熱誠的に臨んでいきます。

PICK UP!

◎ 第18回統一マダン東京



日時:2011年10月30日(日)午後1時～4時30分

場所:荒川区・旧真土小学校校庭(雨天時は同体育館)
 似牛ムテ、チジミ、マツコリ、蛸玉湯粉やビーフなどの屋台・
 信国産舞踊、テンド演忠、出、セムルノなどのステージ

主催：第18回統一マダン東京実行委員会
協賛：京都市／京田辺区協賛会／京都府／京田辺市協賛会（ACC）
S・15次共宣：実践日本地球賞委員会
（連絡先）TEL03-3862-6881／FAX03-3862-6882
<http://www.madano.jp/>

6・15南北共同宣言（2000年）は、南北の和解と交流を促進し、自主的な平和統一を実現する時代を切り開きました。アジアの平和と在日同胞社会、そして差別のない社会へとまっすぐにつながっている朝鮮半島の統一を、わたしたちみんなでつくりあげるために、今年も統一マダン東京を開催します。

多くのみなさんとの出会い、交流するマダン（広場）でチャングやブクの音が鳴り響くなか、美味しい朝鮮料理やマッコリに酔って、歌って、舞い踊りましょう。みなさんお待ちしております。

日時:2011年10月30日(日) 午後1:00~4:30

お問い合わせ

0120-734-101まで

◎ 10. 4共同宣言4周年記念

平和と自主統一実現日本地域委員会 集会

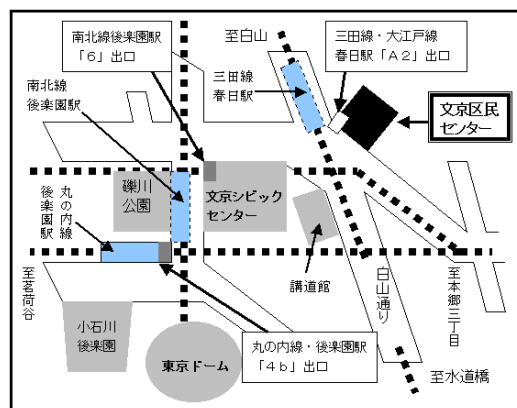
第一部：集会

第二部：映画上映『天安艦沈没』
(日本語字幕つき)

日時：2011年10月6日（木）

午後：6：00開会（5：30開場）

場所：文京区民センター3A会議室



編・隼・後・記



いま、各地域において国政選挙公報運動が大々的に展開されてます。2012年政治決戦にむけて、さらに運動を前進させ必ずや6・15勢力の勝利を勝ち取りましょう（徐）

「韓青通信(ハンチョンツウシン)」 2011年9月15日発行(隔月15日発行) 発行: 在日韓国青年同盟 中央本部
〒101-0031 東京都千代田区東神田 1-8-8 弥助ビル 2F TEL. 03-5823-0815 FAX. 03-3851-0815

HP : <http://www.hanchung.org/> Mail : chuo@hanchung.org 郵便振替 : 00160-6-351003 (在日韓国青年同盟)